

研究背景

車室内における音の提示

運転手は多くの情報を受ける

視覚情報は多種多様

→ 聴覚情報には拡張の余地あり

音像定位の制御により, 情報価値向上

研究目的

後頭部スピーカによる音像定位



汎用的なHRTFを使用
+

水平面や仰角, 俯角方向の音像定位

▼

座位状態への音像提示が可能

研究内容

各要素の影響を把握	後頭部スピーカを把握	実用上の精度を検討
各要素による, 精度を把握 ・ 周波数 ・ 吹鳴 ・ 残響  組合せの 検討実施	スピーカ距離を変更 ・ 至近距離の音源 ・ 遠距離の音源 頭部伝達関数の差を把握	実用を再現 ・ 音の変更 ・ 視覚情報 ・ 運転操作  実用上の課題 現状の把握